

	<h1 style="font-size: 4em; margin: 0;">会 報</h1> <p style="font-size: 1.5em; margin: 0;">—新潟県少年自然の家後援会—</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">[第 20 号]</p> <p style="text-align: center;">平成21年 2月19日</p> <p>事務局 新潟県胎内市乙字大日裏 新潟県少年自然の家内 〒959-2602 TEL0254(46)2224 FAX0254(46)3070</p>
---	--	---



自然体験が子どもの 心をはぐくむ

胎内市長 吉田 和夫

自然体験の場として親しまれてきた「新潟県少年自然の家」も開所から35年を迎え、当初から活動されてきた方々もお父さん、お母さんになり、今はその子どもたちが体験活動を満喫しております。

現在も、県内外から年間3万人を超える利用者があり、訪れた子どもたちに楽しく活動してもらうため「少年自然の家」周辺の環境整備をしていただいている後援会の皆さまをはじめ、地域ボランティアの方々の御支援、御協力に対し心より感謝申し上げます。

子どもの時期は、人格の基礎が形成され、人としての根を張り、幹や枝を伸ばして葉をつける、子ども一人ひとりにとってかけがえない、とても重要な時期であると思います。

子どもは次世代の担い手であり、こうした時期に「生きる力」の基本ともなる、社会性や豊かな人間性をはぐくむための様々な体験は、とても重要な意味を持つものであると考えます。

是非とも、「少年自然の家」の恵まれた自然環境の中でのさまざまな体験活動を通じて、子どもの心と体の健全な育成に役立てていただきたいと思います。

また、今年の秋にはトキメキ新潟国体が開催され、胎内市では正式種目としてゴルフ、ライフル射撃競技、デモンストラーションとしてグラウンドゴルフが行われます。グラウンドゴルフについては、技術向上のため練習の場として「少年自然の家」の広大な自然林が用意されています。今後とも、「少年自然の家」が子どもの心をはぐくむ場として活動できますよう、また、後援会の皆様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

物心両面での支援に感謝

新潟県少年自然の家所長
齊川 豊



昭和61年（1986年）11月13日、新潟県少年自然の家後援会が設立されました。以来、現在まで22年という長い年月が経過しましたが、この間、後援会の目的である「少年自然の家の環境整備事業を援助する」という心が、現在でも変わることなく引き継がれていることに深く感謝申し上げます。

今年度も地区をあげての松葉かきをはじめ、遊歩道整備やタイヤ遊具の設置での人的支援ばかりでなく、毎年、胎内市からいただいている補助金を活用しての案内看板支柱修理や除草剤の購入、地元の乙中学校の生徒さんにも御協力いただいた樹銘板設置のための材料費等々に至るまで、多岐に渡って御支援をいただいております。

そして、何よりも困ったときに私たちの良き相談相手として、会長を始め、副会長、理事の皆様方のお力添えが嬉しくてたまりません。後援会は、「私どもの心の支えである」と言っても言い過ぎではないと思っています。今後も県の青少年教育施設であるばかりでなく、地元と共に歩む自然の家であり続けるよう、職員一同、一層の努力をして参ります。

これまでの支援に対し感謝するとともに、今後とも、物心両面で一層の御支援をくださいますようよろしくお願いいたします。

自然の家の存在は大きい

新潟県少年自然の家
後援会副会長
桃崎浜 区長 伊藤 貞夫



新潟県少年自然の家が開所してまもなく、すぐ近くの乙小学校のPTAの役員として、施設見学に行き、素晴らしい施設に感動し、地元で立派な施設ができたこと口々に喜び合っています。

それから、子ども会、スポーツ少年団の指導者として子どもたちを引率して少年自然の家を利用する機会が何回かありました。子どもたちはこのような施設利用は初めてで、建物は新しいし、見るもの聞くものが何もかも珍しく、嬉々として騒ぎ回ったことを覚えています。子どもたちにとっても、学校と違った共同生活の思い出は、忘れられないものに違いありません。

35年経過した今また、後援会という立場で関わることになりましたが、精神的荒廃が叫ばれている今日、子どもたちの健全育成に向けて、年間3万人以上が利用する施設としての少年自然の家の存在は大きいと思います。

自然の家の施設は古くなりましたが、その存在意義を考えると、地域に住む我々のできることを見つけ出し、なお一層環境整備に努め、側面から支援の輪を広げていきたいと思っております。

今年度も多くの方々からご奉仕いただきました



松葉かき

- 平成20年4月10日 松葉等集積作業 …… 乙中学校
- 平成20年4月13日 松葉等運搬処理作業

3地区から、以下のとおり参加をいただきました。
ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

・乙地区 (16名)

河内 幸史	○田村 龍三	渡辺 勝
○南波 精咲	○川崎 克	○斉藤 広司
諸本 聡	川崎 昌春	遠山 裕一
古泉 清	○川崎 定博	◇天木 義人
諸本 鉄雄	○時田 保弘	
○今井 淳三	○南波 英生	

・桃崎浜地区 (14名)

三浦 昭男	貝沼 米春	小池 幸男
菅 久栄	三浦 裕明	小島 三一
菅 和	○菅 昭弘	小島 勇
本間 一江	○三浦 元一	小池 征行
菅 紀亜	小池 辰夫	

・荒井浜地区 (13名)

長野 彰夫	佐藤 実	長野 正夫
八幡 弘	小川 正行	相馬 浩工
阿部 吉一	野沢 源治	斉藤 工
阿部 正生	細野 久雄	
佐々木 徹	野澤 修	

・胎内市職員 (8名)

※ ○軽トラック提供者、◇小型ショベル提供者

野 外 草 刈 り

- 平成20年7月6日及び7月8日

3地区から、以下のとおり参加をいただきました。
ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

・乙地区 (11名)

河内 幸史	諸本 鉄雄	川崎 清一
南波 精咲	今井 淳三	時田 行二
諸本 聡	川崎 昌春	時田 保弘
古泉 清	南波 儀雄	

・桃崎浜地区 (9名)

伊藤 貞夫	三浦 春男	本田 昌
三浦 昭男	小嶋 栄	本間 吉之祐
藤木 勝男	藤木 繁一	小島 捨次

・荒井浜地区 (8名)

長野 彰夫	佐藤 実	野澤 修
八幡 弘	相馬 浩	長野 正夫
佐々木 徹	野沢 源治	



樹 銘 板 設 置

- 平成20年5月12日 自然観察会樹銘板調査
- 平成20年12月11日 " 設置

以下の方々から、参加をいただきました。
ありがとうございました。

・ 3地区の役員

- 外部講師
- 胎内市職員
- 乙中学校職員
- 乙中学校生徒



タ イ ヤ 遊 具 設 置

- 平成20年11月4日設置

3地区から、以下のとおり参加をいただきました。
ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

- ・ 乙 地区 (7名)
河内 幸史 諸本 鉄雄 南波 儀雄
諸本 聡 今井 淳三
田村 龍三 川崎 克
- ・ 桃崎浜地区 (3名)
三浦 昭男
小嶋 栄
本間 吉之祐
- ・ 荒井浜地区 (2名)
長野 彰夫
八幡 弘



平成21年	12月11日 (樹銘板設置)	11月4日 (タイヤ遊具設置・計11名)	7月6日・7月8日 (草刈り・計30名)	5月12日 (自然観察会樹銘板設置)	4月13日 (松葉かき・計63名)	4月1日 後援会発足	平成20年度 後援会活動事業報告
	3地区の役員	乙地区	乙地区	胎内市役所	乙地区	副会長 伊藤 貞夫	
	外部講師	桃崎浜地区	乙地区	胎内市役所	乙地区	副会長 長野 彰夫	
平成20年	12月11日 (樹銘板設置)	11月4日 (タイヤ遊具設置・計11名)	7月6日・7月8日 (草刈り・計30名)	5月12日 (自然観察会樹銘板設置)	4月13日 (松葉かき・計63名)	4月1日 後援会発足	平成20年度 後援会活動事業報告
	3地区の役員	乙地区	乙地区	胎内市役所	乙地区	副会長 伊藤 貞夫	
	外部講師	桃崎浜地区	乙地区	胎内市役所	乙地区	副会長 長野 彰夫	
平成20年	12月11日 (樹銘板設置)	11月4日 (タイヤ遊具設置・計11名)	7月6日・7月8日 (草刈り・計30名)	5月12日 (自然観察会樹銘板設置)	4月13日 (松葉かき・計63名)	4月1日 後援会発足	平成20年度 後援会活動事業報告
	3地区の役員	乙地区	乙地区	胎内市役所	乙地区	副会長 伊藤 貞夫	
	外部講師	桃崎浜地区	乙地区	胎内市役所	乙地区	副会長 長野 彰夫	

2月17日 (後援会会計監査)
2月19日 (後援会総会・会報20号発行)

案内看板の修理や毛虫防除用噴霧器の購入



<木製案内看板の支柱修理>

主要遊歩道の重要な位置にある案内看板の支柱3本が老朽化し、倒れそうになりましたので、取り替えました。



<毛虫防除用噴霧器の購入>

2年連続で、当所敷地内に毛虫(茶毒蛾)が大量発生したため、緊急時に対応できる防除用肩掛け噴霧器を1台購入しました。

平成21年度 後援会事業計画 (案)

1 松林内の整備

- 松葉の集積
- 枯れ枝の搬出
- 4月12日
奉仕作業
「松葉かき」

2 遊歩道等の整備

- 雑木伐採・草刈り
- 遊歩道の補修
- 6月・7月
奉仕作業
「草刈り」

3 広報紙の発行

- 後援会「会報」
印刷・発行
全戸配布

4 その他(未定)

- ◇ 樹銘板の設置
- ◇ タイヤ遊具設置